

うけん

Vol.286

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地
電話：0997(67)2211番
FAX：0997(67)2262番
発行所：宇検村役場
編集：総務企画課
URL http://www.uken.net
Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2～3 村長・議長新年のあいさつ
- P 4～6 むらの話題
- P 7 平成20年度決算報告
- P 8～11 お知らせ
- P 12～13 2つのNPO法人が設立
- P 14 村民のうごき

新年
お明
めけ



まして
でとうらびございます!



2010 寅

田検保育所の恒例行事『もちつき大会』のようす。自分たちで丸めたお餅をうれしそうに味見していました。
【写真撮影＝田検保育所（12月16日）】

小さな村が大きく輝くように

村民の皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成二十二年の新春を迎えるに当たり謹んでご挨拶を申し上げます。

村政を預かる私も村長就任以来、村民の皆様方には絶大なるご支援とご協力を頂きながら村政運営を進めており、その事に対し村民の皆様方に心から感謝申し上げます。

今年が私が村長就任して、四年目を迎える期目の仕上げの年となりました、この間、公約を実現するため常に村民と目線を同じにして語り合い、村の発展を願いつつ村政を進めて参りました、その事が徐々に成果として表れてきている事が村民の皆様にも感じられている事と思います。

昨年を振り返りますと、衆議院選挙に於いては民主党が大勝利を治め政権与党としてスタートし、政策も大きく変わった年でもありませんでした。これまでの事業の推進につきましても政治主導型で進められており、地方の整備事業の推進についても、今後、国の動向を注視していく必要があると思われまます。

本村の活性化を図るためには、先ず、一次産

業の振興を図ることが大事で、本村の豊富な山林の活用や、少ない農地を活用した高収益の農産物を生産させる事があります。その為に昨年、大潟浜に活性化センターを完成させて活用しておりますが、是非、この活性化センターから付加価値を高めた宇検ブランドを出荷したいものです。

村内においては各地で道路整備が進められており、特に国道へ通じる湯湾新村線の工事が順調に進んでおりますが、一方、県道、名瀬瀬戸内線の須古橋の架け替え工事では工事中、村民の皆様方に大変不便をかけたが今年、三月中に完成する運びとなります。この橋の完成によって車両等の離合もスムーズになり交通面も安全・安心が保たれるものと思えます。

また、一昨年より改修工事を進めております防災無線も完成し、それと並行して進めておりますFMラジオ放送も一月四日に開局する事になっております。その開局によって村独自の番組放送が制作され、村民が年一回は参加して頂く番組を計画しており、楽しみの

ひとつになるものと確信をしています。このFMラジオ放送を持続させるためにも村民全員参加で地域の放送番組を創り上げていきたいと考えております。

この様に村民の皆様方の意見を聞きながら村政を進めておりますが、限られた財源であり、最小経費で最大限の効果を上げることが念頭におきながら小さな村が大きく輝く村になるように村民と共に取り組んで参りたいと思っております。

最後になりますが、村民の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

平成二十二年 一月



宇検村長

國馬和範

安全で快適に暮らせる村づくり

村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。ここに、希望に満ちた輝かしい新春を迎え、宇検村議会を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

また、旧年中は、村民の議会活動に対する、深いご理解と、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

これからも、議会議員一同、住民本位の目線で、新たな気持ちで、村政発展に全力で、頑張る覚悟でございます。

さて、世界情勢を見ますと、サブプライム問題に端を発した世界的経済不況の中で、大手自動車産業の、縮小・廃止など、世界の構造機構の大きな変化等を思うとき、まさに世界の大不況の風を感じる年でもありました。

国内にありましては、自民党政権から民主党政権に政権交代があり、新年度の予算編成のため、事業仕分けと称して、各事業の見直しがおこなわれましたが、地方行政や地域経済にも今後の不安を残し、住民の負担増につながることはないのか、その推移をしっかりと見守っていききたいと思えます。

村内においては、宇検村長期振興計画（後期5ヶ年）が、平成二十年度からスタートして三年目の年でもあり、来る新年度においては、さらに希望のもてる年にしたいものです。

主立った事業につきましては、湯湾地区の村営住宅の建設や、屋鈍・佐念地区の道路の改修工事等、また須古橋の架け替え工事・湯湾新村線の大畑工区の道路改修・村内水道工事が年次的に計画され、昨年に引き続き事業が順調に実施されております。

懸案事項でありました診療所の問題も昨年四月から新しい先生をお迎えし、診療所職員一同、新体制のもと、村民の健康を願って頑張っております。

これからも、十年後、二十年後の宇検村の在るべき姿をえがき、安全で快適に暮らせる宇検村づくりのため、生活基盤の整備や、環境整備・産業の振興を推進し、さらに福祉施策の充実を図ります。

また、このような村政のあらゆる重要課題についても村当局と充分に審議を深め、皆様の声を、村政に反映させ、議会としましても

積極的に取り組んでまいります。

厳しい財政難の現状ではありますが、村民の皆様方の深いご理解と、ご協力を頂きながら、村当局と連携を図り、皆様方が安心して暮らし、住みよい宇検村になるよう、議会議員一同、更なる努力をしまいる所存でございます。

終わりになりますが、皆様方にとりまして、今年一年が、最良い年でありますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

平成二十二年 一月



宇検村議会議長

前田 啓一



わきやしま しゅん わだい 宇検村の旬な話題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事を紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



地域の方を招いてミニライブを行いオリジナル曲を披露しました。(写真提供=久志小中)

宇検村を題材にオリジナル曲完成

～久志小中の生徒が石野田さんと制作～

11月10日から11日の2日間にわたり、久志小中学校にて文化庁と村教育委員会主催による「言葉について考える体験事業」が行われました。

この事業は、演劇や音楽、俳句など各分野の第一線で活躍する方々から、言葉による表現等を実践的に学ぶことで、子供たちの言葉に対する関心を高めようと実施されているものです。

久志小中ではシンガーソングライター^{いしのだ なつよ}の石野田 奈津代さんが、2日間子供たちと交流を深めながら歌作りを行い、宇検村を題材にした「I LOVE 宇検村」というオリジナル曲を制作しました。^{あんどう かずひさ}安藤 和久校長は「言葉表現するプロの方に色々な角度から見て頂き、子供たちの言葉に対する幅を広げたいと考えました。歌詞一つ一つには、子供たちの思いが込められています。」などと話してくれました。



歌詞作りに挑戦する授業のようす



高学年、低学年ともに優勝を飾り奄美支部杯の優勝旗を手にした若竹剣道の皆さん

若竹剣道が個人団体で活躍

～11月名瀬LC杯・支部杯と12月碩山杯～

11月15日に第24回名瀬ライオンズクラブ(LC)杯・第32回奄美支部杯剣道大会小学校の部が、奄美市名瀬の大島工業高校体育館で行われました。

団体戦の奄美支部杯では、高学年、低学年ともに若竹剣道スポーツ少年団が優勝を飾り、個人戦のLC杯でも、5年男子の松井 洋希くん(田検小)と6年女子の伊元 姫乃さん(同)がそれぞれ3連覇を達成したのをはじめ、各学年の部で6名の選手が3位入賞を果たしました。

また、12月6日に奄美市笠利町の太陽が丘体育館で開催された第4回奄美市少年剣道大会碩山杯争奪戦では、小学生男子個人の部で優勝した竹下 裕也くん(田検小6年)が最優秀選手賞(キャノン賞, JAL賞)に、準優勝の重 充輝くん(同)が優秀選手賞に輝きました。

若竹剣道スポーツ少年団は、中学生と合同で週4日の稽古を行っています。選手一人一人が確実に力を付けており、その成果が大会での好成績に繋がっています。

秋の叙勲を受章

福山 清光氏
(元村議会議員)

このほど、宇検集落の福山清光氏（元宇検村議会議員）が、永年のご功労が認められ、旭日双光章を授与されました。

十一月二十五日に村長室において、國馬村長より福山氏へ賞状および勲章が伝達されました。

福山氏は、昭和三十九年九月村議会議員に初当選し、実に四十年余りの永きにわたり在職されました。その間、村政の発展と住民福祉の向上に尽力されました。そのご功績が認められ、今回の叙勲となったものです。



賞状を手にする福山さん

村合同金婚式を開催

～9組のご夫婦が出席し盛大に祝う～

11月20日にやけうちの里で、平成21年12月末までに結婚50年を迎えられた9組のご夫婦が出席し、村合同金婚式が行われました。

金婚式では、國馬村長より記念品が贈呈され、祝い唄や祝舞のほか、余興では阿室保育所の子ども達が可愛い踊りと島唄で会場を盛り上げ、石原久子さん（湯湾）が力強い歌声を披露するなど9組のご夫婦を盛大に祝いました。

代表して渡秀美さんが「50年を振り返ると楽しいことばかり思い出されます。この日を迎えられたのも皆様のおかげです。」などと謝辞を述べました。

【出席者名】徳田隆男・芳子（芦検）／川畑守・若子（芦検）／松元義輝・シナ子（田検）／森賢司・キヨエ（田検）／登清巳・リキ子（湯湾）／渡秀美・ヨツ子（湯湾）／原末男・コマ子（石良）／徳山友榮・倫子（名柄）／山下春英・松乃（平田）

※出席者名は敬称略。



金婚式へ出席された9組のご夫婦



元気に踊る阿室保育所の皆さん

男子バレー部が県二連覇！

第22回鹿児島県小学生バレーボール男女優勝大会（安藤旗）が11月22日に霧島市で行われ、大島地区代表で出場した宇検男子バレーボールスポーツ少年団が全試合ストレート勝ちで2連覇を達成しました。

昨年の今大会で、初の県大会優勝を飾った宇検男子チームは、他のチームの目標となり前回とは逆の追われる立場として大会へ挑みました。

子供たちは、そのプレッシャーに負けることなく、自分たちのバレーを貫き見事に優勝を飾りました。



県大会2連覇を達成した宇検男子バレーの皆さん。上段が主力メンバーの5・6年生

また、11月28日に奄美市笠利町で行われた第14回南海日日旗争奪小学生バレーボール大会でも、県大会二連覇の実力を見せ、決勝戦で朝日をストレートで下し、出場した26チームの頂点に立ちました。

人権コンサート開催 宮里さんが田検中でライブ

十一月二十七日に田検中学校（祝義文校長）では、元ハンセン病患者で全国で音楽活動を展開する宮里新一さんを招いて「生き直しライブ〜ハンセン病からの解放〜」と題して人権コンサートを開きました。

人権学習として生徒と保護者が参加し、宮里さん自身がハンセン病患者として体験してきた話や、オリジナル曲五曲を披露した熱いライブに聞き入り、ハンセン病について理解を深めていました。



田検中の生徒と一緒にオリジナル曲を熱唱する宮里 新一さん

中学ソフトテニス

十一月二十八日、第二十一回大島地区中学生ソフトテニス大会が奄美市名瀬で行われました。

大会は、学年別で男女に分かれて行われ、本村の久志校からは小学生も出場し決勝戦へ進むなど活躍を見せてくれました。

男子二年の部で小学五年の高田拓実さんと中学二年の高田泰宏さんの兄弟ペアが準々決勝まで進むと、女子一年の部で小学五年の福永愛さん・前田葵さんが準優勝。女子二年の部で中学二年の川内杏奈さん・福永優衣さんが見事に優勝を飾りました。



今大会で活躍を見せた久志校ソフトテニス部の皆さん

スポーツ振興に貢献 伊村廣文氏へ感謝状

湯湾集落の伊村廣文氏が、社団法人全国体育指導委員連合（斉藤斗志二会長）より感謝状を授与されました。

伊村氏は、本村の体育指導委員として三十年余りの永い期間勤務され、本村のスポーツ振興へ大きく貢献をされました。

その功績が認められ、今回の受賞となりました。十二月四日に村長室において、國馬村長より伊村氏へ感謝状が伝達されました。



村長より感謝状を受け取る伊村さん

リュウキュウアユ産卵場の造成

～養殖されたアユの試食も体験～

世界で奄美本島にしかおらず、絶滅にちかい状態にあるリュウキュウアユの保護を目的に毎年開催されている『リュウキュウアユ産卵場造成イベント』が、11月28日に石良集落の河内川で行われました。

川につかり産卵場の造成作業を行う参加者

村教育委員会と奄美リュウキュウアユ保全研究会の主催で行われるこのイベントは、今年で4回目となり、専門の先生方に指導を受けながらリュウキュウアユが産卵をしやすいような環境作りのため、産卵場の川床造成作業を行っています。

イベントでは、村元気の出る館でリュウキュウアユの生態や保護の必要性などについて説明を受け、今回は初の試みとして養殖されたアユの試食会も行われました。

その後、石良集落の河内川でスコップやクワを手に、参加者全員で産卵場の造成作業を行いました。



養殖アユを初めて口にする参加者